

FOCUS

軽やかに江戸を表現したスパ施設のリニューアル

## 両国湯屋江戸遊

RYOGOKU SPA EDOYU, Tokyo  
Designer Kubo Tsushima Architects

東京都墨田区亀沢1丁目5-8

コンストラクションマネジメント/佐藤総合計画 龍 治男 益田英明 森 正夫

設計/久保都島建築設計事務所 久保秀朗 都島有美 眞田 匠 植木優行 森 万里子

協力/構造設計 TIS&PARTNERS 今川憲英 今川聖英(監理)

設備設計 ZO設計室 柿沼整三 伊藤教子 根本晋吾 照明計画 杉尾 篤

グラフィック 粟辻デザイン 粟辻美早 粟辻麻喜

施工/建築 松井建設 齋藤 寛 小幡智昭 坂本悠太郎 大成温調 松田優祐 木俣藍子

大坪電気 安部智貴 明山勇也

内装 松井建設 メトス(サウナ) アクアエンタープライズ(岩盤浴)

撮影/ナカサ&パートナーズ

ファサードはのれんが風にそよぐイメージで4枚のアルミパネルをデザインした。右が既存棟で左が新築棟。2棟のジョイントをパネルで覆うことで、一体に見せている。青海波文様をハンチング加工し、上階にいくと消失するグラデーションとなっている。

両国湯屋 江戸遊

「両国湯屋江戸道」data

設計協力: サウナ設計/メトス 青葉紀輝 根本俊介  
 吉田直人 岩盤浴設計/アクアエンタープライズ 重  
 隆文 1階おみやげ処什器設計/インテリアズ 平山  
 貴之 スパイス 北島奈々絵 碓氷和也 5階エステ  
 什器設計/ロク 大山 純  
 工事種別: 増築 内外装 全面改装  
 用途地域: 近隣商業地域  
 建ぺい率: 実効84.67% < 制限100%  
 容積率: 実効347.46 < 制限354.78%  
 構造と規模: RC造5階建て  
 敷地面積: 947.34㎡  
 建築面積: 802.16㎡  
 床面積: 合計3625.78㎡ / 1階802.86㎡ 2階735.87  
 ㎡ 3階740.55㎡ 4階759.57㎡ 5階563.32㎡  
 R階23.61㎡  
 工期: 2017年10月1日~2019年6月12日  
 施工協力: ファサードパネル/菊川工業 袖看板/セイビ  
 堂 家具・下足ロッカー/オリバー インテリアズ(3階)

カフェ「応為」 脱衣ロッカー/コスモクリエイティブ  
 什器/末永製作所 インテリアズ(1階おみやげ処) 秀  
 建(3階お休み処) サイン/ライフエッセ ロールスクリー  
 ン/秀建 トーソー

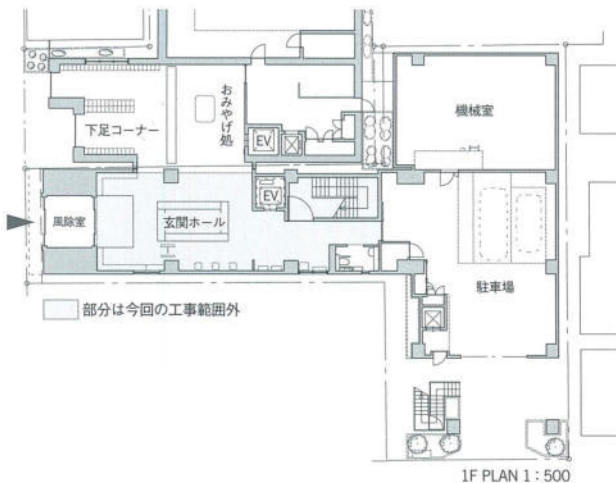
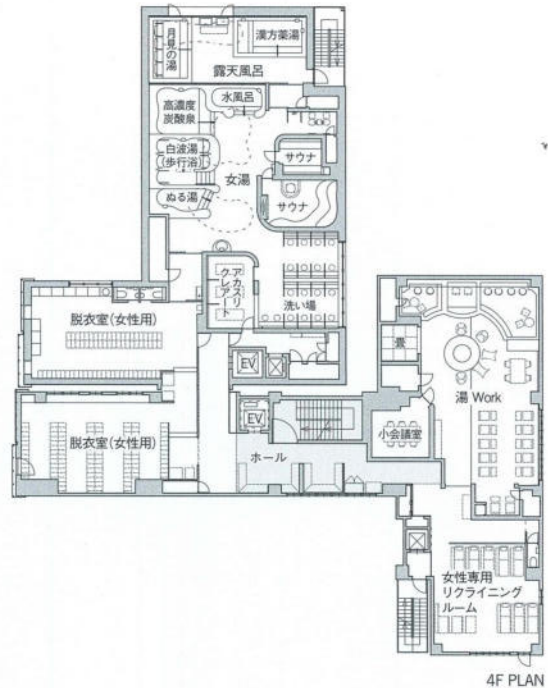
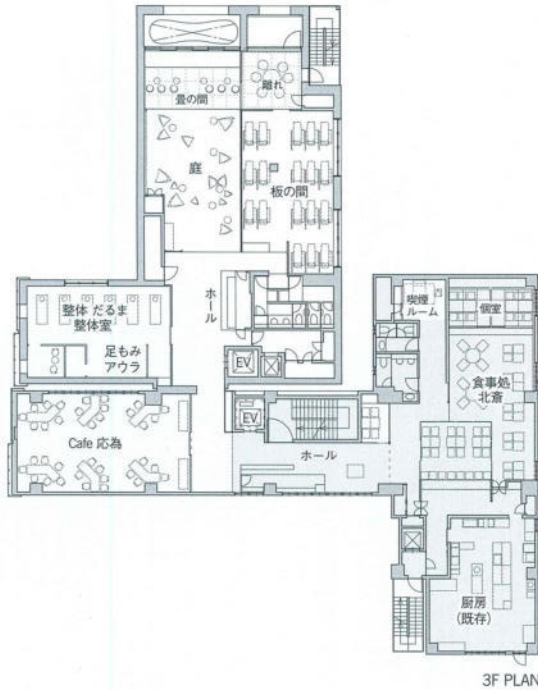
営業内容

開店(リニューアル): 2019年6月15日  
 営業時間: 午前11時~翌午前9時  
 定休日: なし 電話: (03)3621-2611  
 経営者: 株東新アクア  
 主な料金: 入館料/2750 深夜割増料金340/1時間(午  
 前1時~午前6時の滞在客のみ)  
 主な付帯施設: 食事処「北斎」 カフェ「応為」 エステサ  
 ロン「月の花」 はり子の美容針 東洋整体「だるま」  
 タイ古式マッサージ「ラクン」 足もみ「アウラ」 韓国  
 式アカスリ「クレアート」

主な仕上げ材料

屋根: RC地下アスファルト防水

外壁: RC地下防水型複層塗材 下地金物特注アルミパネ  
 ル(菊川工業) ヒノキ羽目板貼り  
 床: タイルカーペット敷き WPC材オーク材フローリング  
 貼り(大建工業) WPC材ヒノキ材フローリング貼り(大  
 建工業) 塩ビタイル貼り(サンゲツ) 浴場/モルタル  
 下地磁器質タイル貼り(名古屋モザイク工業、十九  
 田陶業) モルタル下地十和田石貼り  
 壁: PB下地ビニルクロス貼り 2、4階浴場/セメントボ  
 ード下地二丁掛タイル貼り(名古屋モザイク工業) 木  
 下地ヒノキ材大和貼り  
 天井: PB下地ビニルクロス貼り 2、4階浴場/セメント  
 ボード下地調湿性吹き付け材塗布  
 什器: メラミン化粧板貼り タモ材練り付け カウンター  
 /天板・人工大理石 タモ材練り付け 腰・タモ材練り  
 付け ロールスクリーン/ブリーツスクリーン ロール  
 スクリーン(トーソー)  
 照明器具: ライン照明、ダウンライト、スポットライト(大  
 光電機) 防水ライン照明(森山産業) 屋外用ライン  
 照明(トキコーポレーション)



夜景。パンチングパネルを通し、青海波の模様が浮かび上がる

## FOCUS

自動車メーカーが提案する  
人と建物、自動車がつながる  
「未来の家」

# EQ House

Showroom EQ HOUSE, Tokyo  
Designer Ikuya Hanaoka / TAKENAKA CORPORATION

東京都港区六本木7丁目3-10

企画・プロデュース/メルセデス・ベンツ日本 竹中工務店

建築設計/竹中工務店 花岡郁哉 市倉隆平

福西英知 米津孝祐

構造・設備設計/竹中工務店 大嶋 隆 齋藤悠磨

平野克彦 吉田 徹 山崎 成

施工/竹中工務店 佐久間 徹 松本 浩

錦古里洋介 大野修平

撮影/ナカサ&パートナーズ

IoTとAI実装によって提示する  
人と建築との新しい関係

「EQ House (EQハウス)」は、メルセデス・ベンツの電動モビリティを包括する新しいブランド「EQ」を体験できる家型のショールームである。ダイムラー社のCASE戦略(コネクト、自動運転、シェアアンドサービス、電動化)からは、モビリティが生活空間に溶け込んだ未来を描くことができる。そこで、ブランドにふさわしい近未来を具現化するため、リアルとデジタルを統合的に扱ったデザインを展開した。

「EQハウス」では、家の中にモビリティが入り込み、ガラスのインターフェースにより暮らしと情報、モビリティをつなぐ。IoTとAIを統合したシステムを開発・実装することで、音声やバイタルデータを介して建物が人とコミュニケーションし、環境の好みを学習できるようにした。また、音声入力、メルセデス・ベンツの自然対話式音声認識機能「MBUX」と同じウェイクワード(起動させるための言葉)とすることで、モビリティとリビングでの体験をつないでいる。人工物というよりは自然の一部にも感じられるような空間とするため、365日24時間の日射を解析し、約1200枚のアルミパネルの開口

形状を決定。木漏れ日のような美しい光環境を生み出している。

人と環境の両方に呼応して透明度が変化するガラスや、人の会話の活性度に応じて光環境を変えるベットルームなど、AIを実装する

とで建築に生命が宿っているように感じられる未来を提示している。今後は、「EQハウス」を活用したさまざまなイベントと共に、EQブランドが発信されていく予定である。

〈花岡郁哉/竹中工務店〉





体験型ショールーム「EQハウス」は、自動車メーカーのメルセデス・ベンツが提案する、人と家、自動車がつながる空間。メルセデス・ベンツの自動車に搭載されている音声認識機能「MBUX」を建築に実装し、IoTとAIを用いながら、家と人がコミュニケーションできる仕組みを実現した。天気や温度などの環境状態や人の活動状況を建物自体が解析し、適切な室内環境を提供する。外装や壁面にはアルミパネルを貼った



木漏れ日のように日が差し込むリビングエリア。宿泊することも想定しているため、キッチン、トイレ、バス、寝室も設えてる。内外装パネルの開口の位置は、365日24時間の日射を解析し、明るさや日射負荷、コストを変数として解析し決定した



上左／ベッドルーム。センサーにより人の会話の活性度を読み取り、光環境を調節する 上右／リビングに隣接する形で設けられた駐車スペースには、可動式のガラスパーティションが設けられ、建物や自動車の状況をガラス面に表示させることができる 下／東京・六本木のショールーム「メルセデス ミー」内の敷地に建てられた



#### 「EQハウス」data

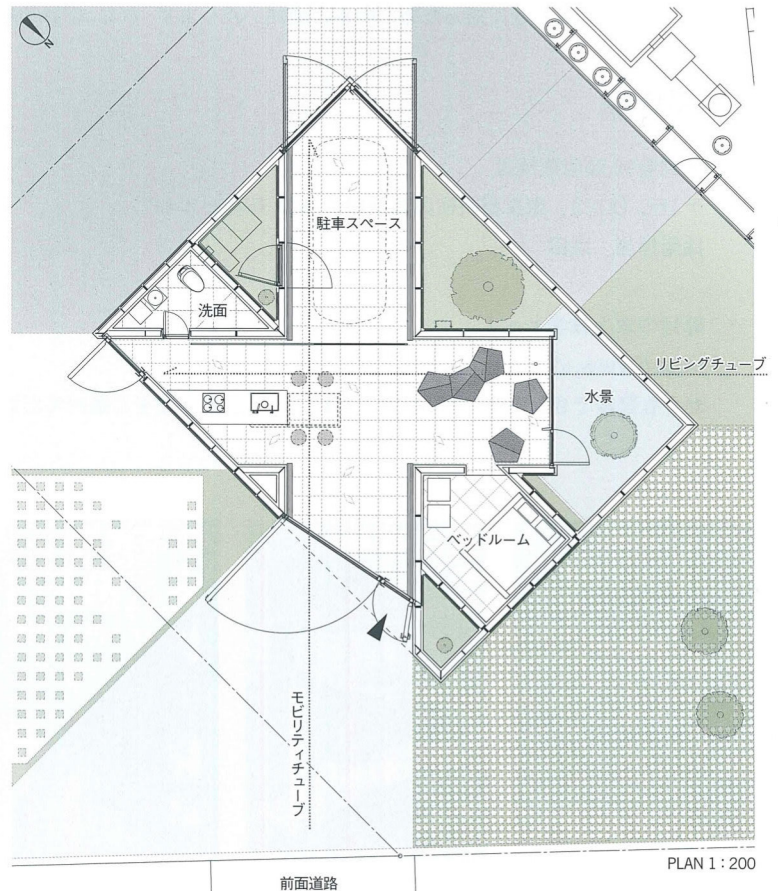
工事種別：一戸建て 新築  
 用途地域地区：商業地域  
 建ぺい率：実効24.436% < 制限80%  
 容積率：実効17.834% < 制限500%  
 構造と規模：S造 地上1階建て  
 敷地面積：493.90㎡  
 建築面積：120.69㎡  
 床面積：88.08㎡  
 工期：2018年9月1日～2019年3月1日  
 施工協力：空調・給排水衛生設備／新日本空調 電気設備  
 ／浅海電気 厨房設備／キッチンハウス 照明器具／  
 アイリスオーヤマ

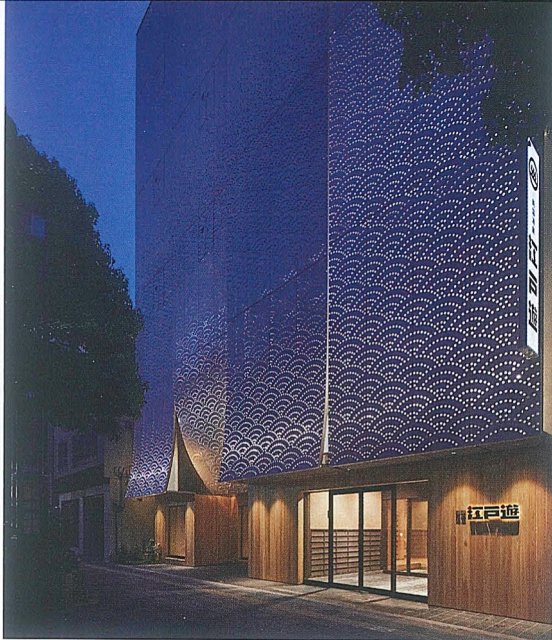
#### 営業内容

開業：2019年3月13日  
 営業時間：午前10時～午後8時  
 定休日：なし  
 電話：(03) 3423-1256  
 経営者：メルセデス・ベンツ日本㈱  
 従業員：1、2人  
 主な施設用途：モビリティとリビングの新しいつながりを提案する体験施設

#### 主な仕上げ材料

屋根、外壁：アルミパネルt3(菊川工業)ウレタン樹脂焼き付け塗装  
 開口部：ST.FIX枠ウレタン樹脂焼き付け塗装(菊川工業)ペアガラス/FLG6+A12+FLG(Low-E)6 一部調光フィルム貼り  
 床：フリーアクセスフロア下地ビニル床タイル貼り(川島織物セルコン)  
 壁、天井：アルミパネルt3下地(菊川工業)ウレタン樹脂焼き付け塗装  
 照明器具：特注菱形照明、ライン照明(アイリスオーヤマ)





## オーダーメイドの金属加工ファサード デザイン・パンチング

メタルならではの高い意匠性と機能性を確保しつつ、さまざまなパンチング建材を実現する菊川工業の「デザイン・パンチング」。パンチングの形やピッチ・サイズが織り成す多様性に加え、各種金属素材とその表面処理仕上げ、曲げや溶接といった金属加工と組み合わせることで、オーダー通りのデザインを実現する。写真の「江戸遊(東京・両国)」では長尺のアルミパネルに青海波柄をパンチングで描いている。形状の自由度も高く、外装だけでなく内装壁や天井など、さまざまなシーンに適用できる。

菊川工業

URL◎<https://www.kikukawa.com/> 電話◎(03) 3634-3231

[資料請求番号 707]



## 四季を通して開放的な空間を演出する屋外専用ロールスクリーン Ziptrakロールスクリーンシステム

季節や天候に合わせて自由自在に開閉でき、手動で高さの調整も可能な屋外専用ロールスクリーン「Ziptrakロールスクリーンシステム」。ロールスクリーンには屋外用高透明軟質塩ビフィルム「アキレス スカイクリア防災」を使用しており、左右に柱があれば、短時間で設置ができる。カフェやレストランのオープンデッキ、公共施設など、さまざまな場所で要望に応じた展開が可能だ。「スカイクリア防災」は、防災性、耐候性、透明性、UVカット性能、REACH規則およびRoHS II指令に対応。スクリーンを下げた状態でも視認性が高いため、景観を損ねることなく設置ができる。w650~3500×h500~3000mmまで開口寸法に合わせてオーダーメイド対応。スクリーン部分生地：w1370×t0.75mm。

アキレス化成製品事業部 フィルム販売部

URL◎<https://www.achilles.jp/> 電話◎(03) 5338-9266

[資料請求番号 708]



## 屋外空間を美しく演出できる照明シリーズ ZERO

大光電機「ZERO(ゼロ)」は、「ベーシックなフォルムに、最先端のLED照明技術と、最高の質感を持つ、ワンランク上の屋外照明器具を提供する」が開発テーマの屋外照明シリーズ。全製品が重耐塩仕様で錆に強く、海岸より200m以内でも安心して使用できる。塗装色の別注も同一価格で対応。写真は、同社の技術研究所(東大阪市)で、間接照明「LLY-7066NUN(調光タイプ)」(色温度:4000K、演色性:Ra83、サイズ:w60×φ1515×h105mm、価格:95,000円)の使用例。ライトアップに最適な角度調整機構をもち、高い防水防塵性能を実現。また、集光タイプと拡散タイプの2種類の配光があり、さらにボルトフリーで多様な電源電圧環境に対応する。

大光電機

URL◎<https://www.lighting-daiko.co.jp/> 電話◎(06) 6222-6240

[資料請求番号 709]



## 上質なマット調メタリックを外装壁に MEMORIA

ニチハの窯業系サイディング「COOL」シリーズの「MEMORIA(メモリア)」は、写真のブラックをはじめアースカラーや原色系まで16色をそろえ、多彩なファサード表現が可能。単一色でそろえても、複数のカラーを組み合わせてもオリジナリティーのあるファサードに仕上がる。シーリングレス仕様でももちろんインテリアにも使用できる。写真のブラックは同社独自のプラチナコートが施されており、非常に強い耐候性を誇る。サイズ:455×1820×t16mm。価格:5,900、6,500、7,000円/枚(塗膜、カラーにより変動)。

ニチハ

URL◎<https://www.nichiha.co.jp/>

電話◎(052) 220-5125

[資料請求番号 710]

